

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年1月28日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103268
法人名	社会福祉法人恩賜財団済生会支部鹿児島県済生会
事業所名	グループホーム 武岡ハイランド
所在地	鹿児島県鹿児島市小野町2427番2 (電話) 099-283-7231
自己評価作成日	平成25年11月23日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成26年1月16日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・開設時より一貫して「日々の暮らしを安心安全に笑顔で過ぎて頂きたい」そんな思いでスタッフ自らが入りたいと思い、家族や知人に自信を持って勧められるホームを目指しています。
- ・天然温泉でほのぼのとした安らぎのある環境を提供します。
- ・中庭で栽培した季節の野菜や果物を収穫して季節感を味わい日々を楽しめます。
- ・個別支援に重点を置き、その方に合った脳活性のレクリエーション・転倒防止のリハビリ・管理栄養士の指導を受けたバランスの摂れた食事・訪問歯科診療や訪問マッサージなど必要に応じて提供しています。又、その方の生活スタイルを重視し、好きな時間に百人一首の書写や好きな飲み物など一人ひとりに合わせたケアに取り組み、個別性を重視しながら協働性も取り入れ、自立支援に向けてゆっくりした時間と空間の中でしたい事をしながら、その日一日を笑顔いっぱいでもらせるよう支援しています。
- ・外部講師による臨床美術や音楽療法を取り入れ脳活性を行う事で、いきいきした時間を過ぎて頂けます。
- ・職員のメンタルヘルスへの取り組みを積極的に行い、スタッフ自ら笑顔で働きやすい環境を目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・母体法人の特別養護老人ホームを中心に、ケアハウスや通所介護事業所、訪問介護事業所、デイサービスステーションなどが隣接し、地域の人に認知症についての講演を開催したりして、高齢者福祉支援を担っている。
- ・災害対策として定期的な訓練と安全対策の整備がなされている。
- ・利用者個人をよく把握し、張り合いや喜びのある日々を過ごせるように一人ひとりの生活歴や力を活かした支援に努めている。
- ・職員育成に力を入れ、研修会への出席を奨励し、資格取得に向けた支援を行い、福祉サービスの質の向上を推進している。
- ・地域交流を積極的に進めて、認知症対策や介護支援の情報発信の場となっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	玄関、ホーム内、事務所に掲示し常に確認できるようにしている。又、業務前に唱和すると共にスタッフ間で適時共有を図っている。	職員で話し合っ、独自の理念を作っている。理念はパンフレットや玄関・事務所に掲示して、業務前に唱和し、理念の共有と実践を図っている。毎年振り返り検討している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近所への買い物時、挨拶をしたり地域やホーム内の行事時、行き来し交流を図っている。ケアハウスの住民やデイサービス利用者とは散歩や慰問時などに交流を図っている。	地域の文化祭など行事に参加し、散歩や買い物の際には挨拶や会話を楽しんでいる。事業所の行事等でも地域住民に催し物を案内し、参加を呼びかけ地域との交流に積極的に努めている。敷地内のケアハウスやデイサービス利用者とは、日常的な交流がある。高校生や一般のボランティアの受け入れなども行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	年2回発行している広報誌や機関紙で情報を伝えている。訪問や電話での相談に随時対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>毎月の現状報告、評価や事例紹介等を通じて意見、助言や要望を頂いている。スタッフ会議で情報を伝達共有し、業務の改善やサービスの質の向上に活かしている。</p>	<p>会議は定期的開催し、消防署や警察署・地域包括支援センター職員・地域代表等の参加がある。事業所の状況や外部評価の報告を行い、防災の話し合いではコンセントやコードの利用についてなど、具体的な改善に繋げている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>地域包括の職員と運営推進会議等を通し密に連携を図っている。市の窓口担当者と適時情報交換を行っている。又、研修や説明会に参加し助言を頂き協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>市の担当者とは日頃から相談したり情報を交換してアドバイスを受けている。市主催の研修会や地域ケア会議にも参加している。福祉担当者とも密に連絡し合って協力関係を築き、介護相談員の受け入れの連携を図っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>毎年の研修計画に身体拘束をしないケアの実践について学んでおり正しく理解している。玄関の施錠に関しては立地環境のため安全面に配慮しながら取り組んでいる。入所時、家族に説明し同意を得ている。</p>	<p>定期的な勉強会を実施し、身体拘束をしないことを方針として、研修会で理解を深めている。玄関の施錠に関しては道路に面しているため、付きそう等安全面で配慮し、職員間の連携で支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>毎年の研修計画に高齢者虐待防止法について学んでおり正しく理解している。言葉の虐待に関してはスタッフ会議の議題で取り上げ見過ごされないよう注意を図り防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>グループホーム連絡協議会や包括主催の研修に参加しスタッフ会議時に伝達研修を行い全員が周知するよう取り組んでいる。ご家族の相談に応じたり資料を配布している。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居時や退所時又は改定時等の際は重要事項説明書や事業所の方針に基づき説明を十分行い、利用者やご家族の不安や疑問点について理解・納得を得るよう図っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>常に利用者・ご家族との信頼関係を築くように努めており、感情を表出できるよう支援している。又、毎年実施している満足度調査や市からの相談員派遣の結果を運営に反映させている。</p>	<p>利用者からは、気軽に話し合える雰囲気作りに留意し日々の生活の中で意見等を聞いている。家族からは、年1回の無記名の満足度調査の実施や家族交流会・運動会等の行事参加時・訪問時等に、要望を聞き、外出プラン作成等に反映させている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>日常的に職員からの意見や提案を聞く機会を設けている。又、毎年の契約更新時に聞き取りを行っている。必要に応じて個人面談を行っている。</p>	<p>管理者は、スタッフ会議や日頃から職員とコミュニケーションを図り、意見や気づきを聞く機会を設け、その反映を図るよう心がけている。提案により手すりを取り付けたり、福祉用具を購入したり、リハビリ内容を変更するなど、反映を心がけている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>毎年、職員の個別面談やアンケート調査を実施し状況把握に努めると共に職場環境・条件の整備に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内の年間計画を立て研修を受ける機会を確保している。又、職員のケアや力量に応じ法人外の研修に参加し伝達研修を行っている。介護福祉・社会福祉士等の資格取得に向けて取り組みを勧めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホームの連絡協議会に参加し研修会や説明会で情報交換など行い連携を図っている。法人内のグループホームとは行事などを通しサービスの質の向上への取り組みを行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居者・ご家族・ケアマネ・サービス事業担当者等からの情報を下に本人が安心して過せる為に面談時、本人・ご家族からの思いを十分に聞き取り信頼関係を築くよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	要望や問題点などに関してはその都度、本人・ご家族と相談しながら苑でできる事とできない事を説明しながら誠実に関わり信頼関係を築くよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・ご家族の思いを受け止め今の状況に応じた支援を提案している。必要時は他事業所へのサービス利用の調整依頼等の代行対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常の生活の家事や行事を通して本人の知恵や経験を学びながら支え合い、家族のように喜怒哀楽を共に行う関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日常生活を適時連絡し報告している。面会時や行事に参加して頂き情報交換を行いながら一緒に支える関係作りを築くように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族・ヘルパー支援で墓参りやかかりつけ医や美容院・外食など通っている。又、在宅時に利用していたディサービスや入居していたケアハウスの住民との交流が途切れないよう行き来ができるよう支援している。	これまでの生活歴や習慣を聞き、入居前に利用していたデイサービスやケアハウスへ散歩時に寄り道したり、家族やヘルパーの支援で墓参りや行きつけの理・美容院、外食にも行く等、馴染みの関係継続を図っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	趣好や生活歴などの背景を考慮し座る場所など提案している。自由に好きな場所で家事や談話が行える環境作りを行っており孤立しないよう調整役を務めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要とする場合は本人・ご家族とは継続的に関わり、ケアマネや主治医と連携を図り情報交換を行いながらフォローし相談や支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	会話や表情から隠れた思いを推し量り、意向の把握に努めている。ご家族や職員からの情報を参考に本人本位に検討している。	日々の関わりの中で、声かけの工夫をしながら表情や言動等から思いや意向の把握に努めている。把握が困難な場合は、家族や以前利用していたデイサービスの職員から得た情報を参考に、馴染みの友人知人からも情報を得て職員で共有し、意思の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	面談時、本人・ご家族から聞き取りを行い、主治医やケアマネ・サービス担当者からの情報把握に努めている。入所後のスタッフからの新たな情報を随時把握するよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常生活の暮らし方や身体状態からペース（食事・排泄・生活習慣等）を知り、本人の出来る事、している事、出来ない事を総合的に把握するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人・ご家族と定期的にカンファレンス・モニタリングを行っている。訪問看護師・主治医からの意見を参考にスタッフ会議などで現状に即した介護計画を作成するよう努めている。</p>	<p>本人や家族・医師その他必要な関係者の意見を参考に、職員の気づきや意見を取り入れ、個々に応じた介護計画を作成している。毎月のカンファレンス等で本人及び家族の意見を把握し、スタッフ会議での意見を参考に介護計画を作成している。1ヶ月毎にモニタリングを実施し、見直しは6ヶ月毎に行っている。状況が変化したときは現状に即した介護計画を作成している</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別に日々の生活・健康・排泄状態等を記録し引き継ぐ時に報告すると共に随時、情報交換を行い共有しながらケアの実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>買い物等の外出や理髪・受診等本人やご家族の状況や要望に応じ臨機応変に対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>協力医療機関へ適時相談し連携を図っている。又、地域の警察や消防等の協力支援体制があり安全に暮らせるよう支援している。民生委員と運営推進会議を通して密に情報交換している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人・ご家族の意向を尊重している。受診は基本、ご家族同行でお願いしているが困難時はヘルパーや職員で支援している。訪問診療も多く利用しており、多くの医療機関との関係を密に図っている。</p>	<p>本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援し、緊急時や往診の連携も話し合っている。受診は家族同行となっているが困難な場合はヘルパーや職員で支援している。また訪問看護との契約により利用者の健康管理が密に行われている。歯科や心療内科・マッサージなど、訪問診療も支援している。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>訪問看護師と医療連携を図り、定期的に健康管理を依頼している。又、毎日の健康チェック時の異常時や必要時は随時相談できる体制を整えている。緊急時等隣接事業所であり、早急な医療活用が可能である。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院した医療関係者と情報交換すると共に定期的に面会し状態観察し励ましている。早期退院が可能な際は必要時訪問看護師と連携を図り医療処置を行いながらホームでの生活が送れる体制を作っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所時に必ず説明し支援方法の確認を行っている。又、必要に応じて本人・ご家族へ随時説明を行うと共に主治医や訪問看護師等と密に連携を図り今後の方針について情報の共有を図っている。</p>	<p>入所時に、重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し、理解を得ている。状況変化に伴い、繰り返し話し合っている。看取りについては、本人や家族の意向を確認し主治医や訪問看護師等と連携して支援している。職員全員がその方針を共有している。職員はその関連の勉強会や講習会に参加している。既に看取りの経験がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>職員の殆どが普通救命修了書を習得している。管理者も救命普及員の研修を習得しているため随時職員へ伝達研修をし実践力を身につけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回消防署の協力を得て防災訓練を入居者と共に行っている。苑内でも毎月避難訓練を計画し全職員が避難出来る方法を周知出来るよう取り組んでいる。又、法人内でも緊急連絡網や協力体制を築いている。	年2回、消防署の協力で、法人事業所とグループホームの合同で昼夜間想定避難訓練を行い、自主訓練も毎月実施している。スプリンクラーや緊急通報装置も設置されている。近隣在住の事業所職員との緊急協力体制もできている。災害用の食料等の備蓄もある。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩であり人格者として尊重し日々の声かけや支援について努めている。スタッフ会議で尊厳について話し合い全職員がプライバシーや誇りを損ねない支援が行えるよう対応している。	スタッフ会議や勉強会で、接遇や尊厳について、人格やプライバシーを損ねず、人としての尊厳を保てる言葉かけや対応について研修を行い、利用者の呼びかけは、様づけを基本に利用者等の要望に沿った支援を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	その方の分かる力に応じて開かれた質問や閉じられた質問等を取り入れゆっくりした時間の中で自己決定ができ、納得して生活ができるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的に一日の流れはあるが、本人のペースを尊重しながら、その日の体調・表情・希望などを参考にゆっくり過ごせるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	本人の趣好に応じ出来ない方は一緒に衣類を選んだり、希望者には適時髪染めを行っている。外出時や訪問理容時は本人・ご家族の希望に添って化粧や髪を整えるよう支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の意見を参考に季節感を取り入れ献立を作成している。裏庭の野菜の収穫を楽しみながら能力に応じ、調理・盛り付け・片づけ・味見等、行っている。静かな音楽を流しながら職員と一緒に見守りながら食事を取っている。	菜園の野菜を活用して、栄養士の助言をもらいながら、嗜好に配慮した献立を工夫している。利用者個々人の力を活かしながら、料理の下ごしらえや後片づけを職員と一緒にいたりしている。誕生会や行事食・外出時の弁当等、食事が楽しみなものになるよう工夫している。口腔ケアも大切な日課である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	法人内の管理栄養士の確認を得て献立を作成している。食事・水分摂取を職員間で把握し、必要な入居者に関しては記録を取り個別で支援するよう努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケア・義歯洗浄への声かけ・介助を行っている。研修に参加し伝達研修を行い全職員が肺炎防止のための口腔ケアの重要性を理解している。訪問歯科診療を依頼し定期的に助言を得ている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を作成し個別の習慣や時間を把握している。必要な入居者はトイレに案内し、自立に向けての取り組みを行っている。	個々の排泄パターンを把握し、自尊心に配慮しながらトイレでの排泄を大切にしている。食材の工夫や水分調節・運動等で生活を工夫し、おむつを減らす取り組みと排泄の自立を支援している。夜間はポータブルトイレ利用を数名行うだけでトイレでの排泄を支援している。改善がみられた例では家族に喜ばれている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄の状況を記録しており、個別に応じて食材の工夫・オリゴ糖使用や運動・マッサージ等で予防に取り組んでいる。必要時は主治医へ相談し服薬にて調整を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	毎日入浴（天然温泉）出来るよう用意している。時間帯は一応決めているが、本人の希望や必要性を考慮し、ゆったりと入れるように支援している。	隔日の入浴を基本としているが、好きな時間に、職員と会話しながらゆっくり入浴を楽しんでいる。本人の希望や必要時は毎日の入浴も可能である。天然温泉で、個々人の体調や希望に添った入浴ができる支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	なるべく日中に活動を提供し生活リズムを整えるよう努めている。空調や照明・清潔なリネン等を整え、いつでも好きな時間に気持ち良く安らぎの持てる環境を提供している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の一覧表を作成し適時スタッフ会議で共有を図っている。服薬時は3回確認の徹底を行い、症状の変化時は早期に上司・看護師・主治医の指示を仰いで対応している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴や趣味を参考に家事やレク等の提供を行っている。得意分野への提供を行い、楽しみや自信に繋がる様に支援している。苑外レクや外食等入居者と相談しながら決定し気分転換を図っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	その日の天候に応じ可能な限り本人の希望に添った時間に散歩や買い物支援ができるよう努めている。年間行事を作成し夕食や地域への行事に参加している。家族支援により外泊やお寺や墓参りなど行っている。	日常的には本人の希望に沿って、敷地内の散歩や職員の買い物の同行を実施している。年間計画を立てて花見やぶどう狩り・地域行事への参加など、家族も一緒に出かけることもある。家族の協力で墓参にも出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人より希望のある方は少量の額を事務所で預かり定期的に本人・ご家族に説明し確認を得ている。買い物同行行い、自立支援ができるよう関わっている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	携帯を持参されている方も多く自由に好きな時にご家族へ連絡している。毎年、年賀状や暑中見舞いなど家族や知人やり取りできるように支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	明るい食堂兼居間は台所からの匂いや音が伝わり生活感に溢れている。テレビやラジオの音に配慮し季節の花を常時飾り窓際に椅子を設置し外を眺め季節感を味わっている。空気清浄機や加湿器を設置し空調管理にも努めている。	共用の空間は明るく採光や換気に配慮し、廊下にはソファー等の休憩スペースが設けられている。掃除が行き届き清潔である。利用者の作品や写真・季節感ある生花が飾られる等、居心地よく過ごせるような工夫がされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>利用者同士で談話したり新聞や雑誌を読んだり思い思いに過している。ホールや廊下にソファや椅子を置き自由に好きな場所で過せるように居場所の工夫をしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人・ご家族を相談しながら使い慣れた物等を持参し、居心地良く安心できる空間作りを行っている。ご家族の写真を飾ったり仏壇を持参している方もいる。</p>	<p>居室には温度計があり、適切な室温等の管理がなされている。仏壇や机・椅子・ぬいぐるみ・諸家具・写真などの使い慣れた物や馴染の物を持ち込んでいる。寝具の一部はリースを利用し、清潔が保たれ、居心地よく過ごせるような工夫がされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>入居者の方々の状態に応じスタッフ間で情報交換しながら安全に快適に生活できるよう工夫している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない